

実施計画名

教員養成系大学体育会における、大学生による部活動指導員派遣体制の構築

事業概要

本事業は、教員養成系大学である奈良教育大学の強みを活かし、地域の中学校における部活動の担い手不足という課題に対して、持続可能な支援モデルを構築するものです。教職を志し、スポーツ経験を有する体育会学生を対象に、安全管理や指導法、教育的配慮に関する専門講義と附属中学校での指導実践を組み合わせ、教育的視点と現場対応力を備えた人材を育成します。また、学校現場のニーズと学生のスキル・志向をマッチングする仕組みも整備し、教員の負担軽減と指導の質向上を両立します。卒業後も地域でのスポーツ指導に関わる意欲を持つ人材の循環が期待され、教員養成系大学ならではの「教育×実践×地域貢献」を体現する全国展開可能なモデルとして、地域スポーツ支援の新たな姿を目指します。

■大学生指導員の養成・確保に当たっての仕組みやフロー

本事業では、大学生指導員の養成・確保に向けて、①募集・選定②研修講義、③指導実践、④マッチング体制の構築という四つのステップで進めます。まず、体育会学生に対し、募集と選定を行ない、次に安全管理や指導法などを学ぶ全5回の講義を実施し、基礎的な知識と姿勢を育成します。次に、附属中学校での実践指導を通じて、現場経験と教育的視点を養います。さらに、中学校の指導ニーズと学生のスキル・志向を整理し、今後の適切な人材配置に向けたマッチング体制を整備します。これらを一貫した仕組みとして機能させることで、実践力と教育的視野を備えた指導人材を持続的に養成・確保することが可能となります。

体育会学生の募集・選考

体育会学生を対象に説明会と募集を実施し、選考のうえ参加者を決定する。

指導者育成プログラム（講習）

全5回の専門家による講習を実施

講習は講義と実技の両方を行う

附属中学校（中等教育学校）での指導実践

指導実践を行ないレポートを作成

大学教員＆中学教員が評価＆フィードバック

カリキュラム修了者によるマッチングリストを作成

学生の競技歴・指導志向・日程等をリスト化

奈良市内の中学校部活動の指導ニーズをリスト化

■実証事業の検証・評価方法

①大学生の成長

大学生の評価は、レポート、自己評価・アンケート（教職志望意識の変化や指導への自信等）を通じて行い、指導力や安全管理、教育的視点の習得状況を確認。

②中学校・地域への効果

顧問教員へのアンケートや聞き取りで、指導の質や教員負担軽減、中学生の意欲・技術の変化を把握。保護者アンケートも活用し、信頼感や安心感を評価。

③事業全体の有効性

事業全体では、指導人数、実践回数、レポートや関係者の意見などのデータを分析。

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）

